

農業・資源経済学専攻
修士課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内

この入試案内は、令和 8 (2026) 年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項を補足するものである。

農業・資源経済学専攻の選抜試験（A日程・B日程）は筆記試験、口述試験とも対面では行わない。そのため、海外在住者であっても来日の必要はない。

< A日程 >

1. 出願期間

令和 7 (2025) 年 6 月 18 日（水）10時から 6 月 24 日（火）17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験

(1) 外国語（英語）

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語（英語）試験について」を参照のこと。

(2) 専門科目

出願時に、1) 農業経営学、2) 経済学、3) 農業経済学、4) 農政学、5) 開発経済学の 5 科目の中から 3 科目を選択すること。

専門科目の試験は小論文形式で行う。課題は、日本語および英語で出題する。解答は問題指示文に指定のない限り、日本語または英語で行うこと。願書提出後に、専門科目ごとの小論文課題を送付するので、出願時に届け出た専門科目の小論文を作成し、定められた期日までに提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

(注) 出願者数によっては、TOEFL スコア、専門科目（小論文）に基づく事前選抜を行う可能性がある。詳細は受験者心得を参照のこと。

書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。

3. 口述試験

オンラインによる口述試験を実施する。口述試験の際の使用言語は、日本語または英語を出願者が選択できる。

また、社会人特別選抜出願者は、口述試験において研究計画について 8 分程度の報告が求められる。詳細は小論文課題送付時に指示する。

4. 試験期日

口述試験は、令和 7 (2025) 年 7 月 28 日（月）～ 8 月 22 日（金）の 1 日ないし 2 日間で実施する。

試験日時その他の詳細は、令和 7 (2025) 年 7 月上旬に送付する受験者心得で通知する。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～コを提出すること。「コ 専攻が提出を

求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

志望理由書 (1部)	・提出は小論文の提出と同時期を予定しており、提出方法や締切については、小論文課題と同時に出席者に通知する。 ・志望理由は、問題意識、研究したいテーマ等を書いたものであり、A4、2,000字以内（英文の場合は1,000words以内）で作成すること。
---------------	---

6. 10月入学

募集要項に定める出席資格を満たす者は令和7(2025)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「ケ 10月入学希望申請書」を出席期間中にWeb出席システムにアップロードすること。

7. その他

(1) Web出席システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出席書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員名は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ第3志望まで、専門分野と教員名を入力すること。同じ専門分野の別の教員を第2、第3志望として入力してもよい。どうしても第2、第3志望がない場合は、入力しなくてよい。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出席前に最新版を確認すること。

③専門科目欄には受験する科目名を必ず入力すること。未入力の場合は、出席書類不備として取り扱う。

④履歴事項は大学卒業（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選抜出席者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出席前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(2) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出席2週間前には第1志望の教員へ連絡をとること。

(3) 過去問題の入手方法は、農業・資源経済学専攻のウェブサイト参照すること。

(4) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、農業・資源経済学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(5) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出席にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。

<B日程>

1. 出願期間

令和7(2025)年11月20日(木)10時から11月26日(水)17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 書類専攻

(1) 外国語(英語)

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語(英語)試験について」を参照のこと。

(2) 専門科目

出願時に、1) 農業経営学、2) 経済学、3) 農業経済学、4) 農政学、5) 開発経済学の5科目の中から3科目を選択すること。

専門科目の試験は小論文形式で行う。課題は、日本語および英語で出題する。解答は問題指示文に指定のない限り、日本語または英語で行うこと。願書提出後に、専門科目ごとの小論文課題を送付するので、出願時に届け出た専門科目の小論文を作成し、定められた期日までに提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

(注) 出願者数によっては、TOEFL スコア、専門科目(小論文)に基づく事前選抜を行う可能性がある。詳細は受験者心得を参照のこと。

書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。

3. 口述試験

オンラインによる口述試験を実施する。口述試験の際の使用言語は、日本語または英語を出願者が選択できる。

また、社会人特別選抜出願者は、口述試験において研究計画について8分程度の報告が求められる。詳細は小論文課題送付時に指示する。

4. 試験期日

口述試験は、令和8(2026)年1月29日(木)～2月6日(金)の1日ないし2日間で実施する。

試験日時その他の詳細は、令和8(2026)年1月上旬に送付する受験者心得で通知する。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～コを提出すること。「コ 専攻が提出を求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

志望理由書 (1部)	・提出は小論文の提出と同時期を予定しており、提出方法や締切については、小論文課題と同時に出願者に通知する。 ・志望理由は、問題意識、研究したいテーマ等を書いたものであり、A4、2,000字以内(英文の場合は1,000words以内)で作成すること。
---------------	---

6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和8(2026)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「ケ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

7. その他

(1) Web出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員名は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ第3志望まで、専門分野と教員名を入力すること。同じ専門分野の別の教員を第2、第3志望として入力してもよい。どうしても第2、第3志望がない場合は、入力しなくてよい。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③専門科目欄には受験する科目名を必ず入力すること。未入力の場合は、出願書類不備として取り扱う。

④履歴事項は大学卒業（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(2) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願2週間前には第1志望の教員へ連絡をとること。

(3) 過去問題の入手方法は、農業・資源経済学専攻のウェブサイト参照すること。

(4) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、農業・資源経済学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(5) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。